

公開講座
+
市民学芸員
木綿活動報告

テーマ「織」

織りたいたい

— 大東の河内木綿活動 —

参加費無料
要申込み
(電話または来館で)

講演①

「下機とその織物文化」 植村 和代氏
(帝塚山大学名誉教授)

講演②

「民具と身体
—多視点で民具を想像する可能性—」
身体0ベース運用法(安藤 隆一郎氏)

活動報告

「平成30年度河内木綿に関する
市民学芸員活動の報告」
大東市立歴史民俗資料館

3/3 (日)
14:00~16:30

定員: 30名

場所: 大東市立歴史とスポーツ
ふれあいセンター 4階 多目的室1



会場 大東市立歴史とスポーツふれあいセンター

〒574-0015 大東市野崎3-6-1

TEL/072-876-7011 <http://www.rekisupo.com/>

concept-講演にあたって-

大東市立歴史民俗資料館では、「市民学芸員」という市民による専門スタッフ制度を設けており、学芸員による指導のもと、様々な活動を展開しています。

平成30年度には、河内木綿に関する収蔵資料の調査や、古文書翻刻作業、木綿の栽培などの取り組みを行ってまいりました。

収穫した木綿を「織る」ことを目指すにあたって、「織機」や「織るという行為」を中心とした講演会と、今年度の活動成果を報告する場を設けることとなりました。



講師紹介

植村 和代

大阪女子大学学芸学部国文学科卒業。帝塚山短期大学教授・帝塚山大学現代生活学部教授を経て、現在帝塚山大学名誉教授。

著書『織物』（法政大学出版局）。主な論文「大和の傾斜高機について」「腰機による織物」「垂下げ機による織物」「大和機と厩機—江戸時代 西と東の織機」など。

身体0ベース運用法（安藤 隆一郎）

染色美術作家、京都市立芸術大学非常勤講師・奈良芸術短期大学非常勤講師。

身体0ベース運用法とは「身体」と「もの」との関わりから生まれる身体を「ものづくりの」視点から見直すことにより、人間が本来持つ感覚機能を読み解いていく活動です。そこで見出された「身体」はスポーツや医療、身体表現のためのものではなく、人間活動全てにおいて応用できる身体運用法です。主な活動に2017年の個展「0GYM」京都市立芸術大学ギャラリー@KCUAや四国民具学会会誌「民具集積」への寄稿「背中合わせの身体研究」、ダンサーへのワークショップ「合田企画 Freshly Mixed vol.2」など。

公開講座
+
市民学芸員
木綿活動報告

織りたい!

3/3(日)
14:00~16:30



河内木綿知り隊・作り隊



収蔵庫整理し隊



古文書探し隊

大東市立歴史民俗資料館で平成30年度行った河内木綿の活動

河内木綿知り隊・作り隊

「河内木綿知り隊・作り隊」では、河内木綿について学ぶために、木綿を育て、収穫し、その木綿を使って糸を紡ぐ練習も行いました。



収蔵庫整理し隊

「収蔵庫整理隊」では、収蔵庫内にある木綿関係の資料をアーカイブ化に向けて撮影し、整理作業を進めました。

古文書探し隊

「古文書探し隊」では、木綿関係の古文書の翻刻作業を行いました。

大東市立歴史民俗資料館の、「市民学芸員」、て...?

学芸員による指導のもと、調査や展示を共に行う、当館の専門スタッフ。平成22年に発足した。大東市内の絵馬やだんじりの調査から展示、あるいは市民学芸員展「こんな大東み〜つけた」などの展示を企画・運営。

一緒に、活動に参加しませんか？ まずは、学芸員体験講座を受講ください！

(詳細は、4月以降HPIにて)



大東で、河内木綿はじめました。

「ちょっとむかしの暮らし」展、
資料館で開催中!

ちょっと
むかしの
暮らし



がわちもめんちゃん

2019年1月12日(土)~3月3日(日)

開館時間/9時30分~19時30分 休館日/第1・第3火曜日 入館無料
開場/大東市立歴史とスポーツふれあいセンター内 大東市立歴史民俗資料館

河内木綿プチ特集コーナーもあるよ。